



## 正課「ちやいどすてっぷ」の考える

『就学準備』とは

1年生の算数や国語の先取り教育ではありません。

### 《かず》

数の理解・数の変化の面白さを生活や遊びと結びつけて、経験します。

### 《ことば》

幼児は聞く・話す生活ですが、小学校に入ると書く・読むが中心になります。語彙数を増し、正しい言葉と使い方を知ることによって、表現力や思考力が豊かになります。

### 《かたち》

いろいろな形と出会い、形の変化を楽しみます。試行錯誤しながら自分で完成させた時の喜びを知り、自信につなげます。

### 《運筆》

4歳児では、大きな紙にクレヨンを使って、楽しい運筆に書くときの姿勢や筆圧を身につけます。5歳児は、鉛筆で手首を使って思った通りに鉛筆が動かせるように取り組みます。

### 《鉛筆の持ち方》5歳児

小学校1年生では1割、6年生でも1割しか正しく持てないと言われています。たくさん書くようになると構ってられなくなり、持ち方が悪いと疲れて書くのが嫌になります。正しい鉛筆の持ち方を習得します。

### 《ていねいに名前を書く》5歳児

興味を持たば、自分の名前を書けるようになりますが、小学校では、正しい書き順で大きさを揃えて書かなくてはなりません。レッスンでは、自分の名前を書き順正しく、丁寧に書く習慣を身につけます。

### 《前に立つ先生の話をしっかり聞く》

外部講師が前に立つことで、いつもの保育室が日常とは違った空間になり、クラスの先生ではない緊張感は、小学校に向けての良い経験になります。担任の先生には、個々の様子を見ながら寄り添いサポートをお願いします。

### 《発言する楽しさを知る》

知っていること、考えたことを自由に発言することで、認められる嬉しさを感じ、また、友達の発言を聞く姿勢を自然に理解します。

### 《試行錯誤する楽しさを知る》

わからないとすぐにあきらめるのではなく、自分で工夫したり、考えたりすることで達成感を味わいます。

### 《レッスンを日常生活につなげる》

「ちゃいるどすてっぷ」のレッスンだけではなく、日常保育や家庭において習慣づけることで身につきます。楽しかった様子や内容などを親子の会話に取り入れてください。

### 《結果ではなく過程が大切》

1回のレッスンが到達点ではありません。目標の結果に到達しなくても、そこに至るまでの過程が大切と考えます。できた、できなかったではなく、目標に向かって頑張った過程を認め、ほめてあげましょう。経験することから始まります。